

科目ナンバリング		G-LAS13 80016 LJ90							
授業科目名 <英訳>	災害時の避難生活支援 Life and health support during Disaster Evacuee Life				担当者所属 職名・氏名	医学研究科 教授 今中 雄一			
群	大学院横断教育科目群		分野(分類)	健康・医療系		使用言語	日本語		
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義(メディア授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・ 通年集中		曜時限	集中		配当学年	大学院生	対象学生	全学向
(医学研究科の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
【授業の概要・目的】									
災害時・災害後の避難生活にある人々が、より健康に生きることができるような包括的な支援のあり方を学ぶ。避難所支援を中心に、特にパブリックヘルスの視点からのアプローチを強化する。									
【到達目標】									
災害時・災害後の避難生活の望ましいあり方・支援に係わる様々な知見、考え方、施策・政策、課題、実践、解決手段、研究開発等について学ぶ。避難所支援の実践の体系をも身につけることを目標とする。									
* 災害時に自らの命と健康を守るための行動がわかる。 * 災害対応に関する概念、用語、原則がわかる。 * 人々の命と健康を守るための行動や避難所運営のポイントがわかる。 * 避難所での要配慮者への支援のポイントがわかる。									
【授業計画と内容】									
講義 8 回(メディア授業)									
1. 災害時に命と健康を守るための行動、災害対応に関する概念、用語、原則									
2. 災害時・災害後の生活を取り巻く状況と支援、国内とグローバルな概況									
3. 人々の命と健康を守るための行動・避難所運営I(設営、環境・ライフライン関連など)									
4. 第1～3回のQ&A									
5. 人々の命と健康を守るための行動・避難所運営II(感染管理、疾病予防など)									
6. 人々の命と健康を守るための行動・避難所運営III(不活発予防、コミュニティ連携など)									
7. 避難生活における要配慮者への支援									
8. グループ研究発表と議論									
9. グループ研究発表と議論									
第1～3回 オンデマンド講義									
第4回 9/12(金)4限									
第5～9回 9/19(金)1～5限									
上記の順番と題名は暫定的なものです。初回に予定を説明します。									
【履修要件】									
社会健康医学系専攻を含む、学内の全ての院生。									
-----災害時の避難生活支援(2)へ続く↓↓↓									

災害時の避難生活支援(2)

[成績評価の方法・観点]

主体的・積極的な参加(50%)および最終レポート(50%)で評価する。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

【参考書・参考資料等】Sphere Handbook

<http://www.spherestandards.org/handbook/editions/>

[授業外学修(予習・復習)等]

本人次第

[その他(オフィスアワー等)]

問い合わせ等は、医療経済学教室 <heqm-kyoumu(at)mail2.adm.kyoto-u.ac.jp>へご連絡ください。面談等希望者は、適宜、教員にアポイントメントをとってください。

メディア授業科目

[主要授業科目(学部・学科名)]